

ユニバーシアード冬季競技会(トルコ・エルズルム)

スキー・ノルディック複合個人

1年次生 清水が優勝

日本の金メダル第1号



1月27日に開幕したユニバーシアード冬季競技会(トルコ・エルズルム)のスキー・ノルディック複合個人第2戦で、清水亜里(商1・新井高)が優勝した。写真。前半距離(クロスカントリ10キロフリー)は29分27秒40で4位だったが、後半飛躍(ジャンプ)では2回とも103メートルを飛び、トータル250・0点で逆転。今大会の日本の金メダル第1号となった。

スキー部 大活躍

【クロスカントリ】全スキーフリーで望月崇之(経日本学生チャンピオンズ 菅2・八海高)が優勝した。望月は同15キロクラシキでも望月が優勝、栗山が準優勝した。望月は「自分の力を出

12月から1月にかけて、各地で行われた大会でスキー部が活躍。今季のさらなる飛躍が期待される。

がプリントフリーで準優勝と各種目で好走した。

都合により写真を掲載いたしません。紙面をご覧ください。

▲ 今シーズン好調の望月(写真提供=音威子府村)

都合により写真を掲載いたしません。紙面をご覧ください。

▲ 大回転で果敢な滑りを見せた渡邊(写真提供=榎フェニックス・田部井進也氏)

スピードスケート部好成績

成長の跡を見せた坂井(写真提供=北海道新聞)

都合により写真を掲載いたしません。紙面をご覧ください。

日本学生氷上競技選手権

坂井が1500メートル優勝

男子スピード部門は総合準優勝

日本学生氷上競技選手権(以下、氷上インカレ)が1月6日から9日まで、北海道の釧路市柳町スピードスケート場で行われ、男子スピード部門は昨年に続き、総合準優勝となった。種目別では、1500メートルで坂井洸太(経営3・白樺学園高)が優勝、チームバシユートで豊田翔主将(経営4・白樺学園高)・松尾駿(経営3・八戸西高)・坂井組が準優勝。他にも5000メートル、1万メートルで豊田がともに3位、2000メートルでも山越竜輔(経営4・福徳高)・土井優斗(経営4・白樺学園高)・小林拓斗(経営2・岡谷南高)・大塚樹(経営2・吉田高)組が3位入賞など好成績を残した。



▲ 総合4連覇を達成したメンバー

男子総合4連覇

スピードスケート・関東学生選手権

坂井は「氷上インカレ」になり、結果を出さなければいけないという責任感を持つようになった。3年次生「ようになって、精神的に

成長したことが結果につながった」と話した。

フェンシング・JOCジュニア・オリンピックカップ

上原が男子エペで優勝

世界ジュニア選考ポイント首位



▲ 攻勢に出る上原

JOCジュニア・オリンピックカップ・フェンシング大会が1月7日から10日まで、駒沢オリンピック公園体育館で行われた。世界ジュニア選考の最終選考会も兼ねたこの大会で、上原康士朗(経営1・カライトシユ高)がジュニア男子エペで優勝した。

試合ごとに調子を上げていき、予選リーグ、決勝トーナメントともに危なげない試合運びを見せ、決勝でも相手を寄せ付けずに圧勝。テクニッ

ク、スピードともに相手選手よりも何枚も上手だった。今大会を終え、世界ジュニア選手権の選考ポイントランキングでも首位を独走中。上原は「優勝はしたが、スタミナ不足を感じた。練習でさらに追い込んでいきたい」と、自らのプレーに満足はしていない。「世界で勝つためには、日本だけを見つめていってはいけない」と、より高い目標を掲げ、ひたむきにトレーニングを重ねる。それが彼の最大の魅力であり、強さの要因だろう。(堀部 知・法一写真)



国際大会 出場選手

- ◇スキー部
 - 望月 崇之 第1次クロスカントリ(ジュニア)遠征JWSC・U23世界選手権(1月19日)2月2日、フィンランド・ヘルシンキ)
 - ◇フェンシング部
 - 上原康士朗 ドーハ国際大会(2月9日)カタール・ドーハ)エペ日本代表

専大スポ

No.299

大会結果 予定は変更がホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)で確認ください。専大スポーツ web (http://sensupo.web.fc.com/) へ専大スポーツを配信しています。

【アルペン】全日本学生チャンピオン大会が1月4日から8日まで、長野県志賀高原で行われた。渡邊久瑠美(経営3・新発

田商高)が女子回転で優勝、女子大回転第1戦で落ち着いて臨めた。苦手準優勝、第2戦で4位と結果を残した。「楽しんで」と話した。(下桑田 大亮・文)

渡邊、女子回転で優勝

田商高)が女子回転で優勝、女子大回転第1戦で落ち着いて臨めた。苦手準優勝、第2戦で4位と結果を残した。「楽しんで」と話した。(下桑田 大亮・文)